

光星接戦振り切る

青森、5点差詰めるも涙



【青森―八学光星】8回裏、八学光星無死三塁、長南が中越えに勝ち越しの適時三塁打を放つ。はるか夢

▽準決勝(はるか夢)

青森 001 2010 0220

八学光星 022 2000 011×76

(青) 横内、天内、三浦、今

(八) 成田、福山、瀬川

▽本塁打 尾崎(八)

▽三塁打 天内(青) 矢野、

長南(八)▽二塁打 天内(青)

矢野(八)

▽暴投 横内(青)

【評】八学光星は6―6と同点とされた直後の八回、先頭の矢野が三塁打で出塁。続く長南が中越えに適時三塁打を打ち勝ち越した。最終回は八回から救援した福山が3者連続三振で締めた。青森は七回に天内の適時三塁打などで2点を返し、八回にも単打3本に敵失を絡め2得点。最大5点差を追いついたが投手陣が踏ん張れなかった。勝利にも笑顔なく

勝利にも笑顔なく

○：青森の粘りに苦しみながら何とか勝ちきった八学光星。最大5点差をつけたが、バント失敗や送球エラーなど攻守でミスが目立ち、八回に同点とされた。冷や冷やの勝利に仲井監督は「隙がある。準決勝までに選手がどう意識を変えられるか」と語気を強めた。

6―6の八回に勝ち越し打を放った4番長南(2年)は「4番として、ここぞの場面で打てたのは良かった」としながら、「自分もバントミスがあった。点差が開いて気持ちが悪かった」と笑顔はなかった。

秋季 県高校野球

第3日

秋季県高校野球選手権は第3日の19日、はるか夢(弘前市)と県営(青森市)の2球場で準決勝4試合を行った。八戸高専はエースの関が投げては完封、打っては2点本塁打と活躍し、三沢商を破って春夏秋を通じ同校初の4強入りを果たした。弘前東は聖愛を3―0で完封し、弘前地区同士のライバル対決を制した。八学光星は青森、青森山田は五所工にそれぞれ苦戦を強いられ、1点差の接戦をものにした。八戸高専、青森山田、八学光星、弘前東の準決勝2試合は23日、はるか夢球場で、東北大会行きの切符を懸けて戦う。(本紙取材班)

光星×弘東

ベスト4 23日激突

八高専×山田高

23日の試合

(左のチームが一塁側)

◇はるか夢

▷準決勝

八戸高専―青森山田(10・0)

八学光星―弘前東(12・30)